

【翻刻】安政六年（一八五九）

大雨出水御救につき旗本森川役所申渡請書（写）

〔資料館所蔵 大曾根村文書一二三〕

差上申御請書之事

申渡

伊勢野村

大瀬村

古新田

圀村

大曾根村

大原村

中馬場村

一其村々当秋大雨ニ而致出水一同及水腐候ニ付、

御年貢米皆無并秋成金皆御用捨

被成下候

一一種物買入として百石ニ付金壹両之割を以

御貸渡し被成候間、来ル申年畑方金上納

之節三季ニ割合上納可致候

一水腐ニは相成候得共、水防方骨折殊諸色

入用も相嵩候ニ付、為御手当川通 江金拾両

仲（中）郷 江金五両被下之候

一此度難渋之窮民共 江夫食為御救金八拾

貳両貳分被下置候間、七ヶ村軒別ニ割合頂戴可仕候事

一名主・組頭給米之儀は来ル申より戊迄三ヶ年ニ

被下候間、左様可相心得候事

右は享和度以振合被下候ハ、聊之御手当ニ

有之候間、中々窮民共多足ニは難相成処、

近年一同骨折御年貢筋等出精致し候ニ付、

此度は出格之以 御憐愍御救被成下候間、

館料難有相心得可申候、尤此末凶変之儀出来候共、
資料立御地頭所ニおゐて臨時物入筋ニ而御手薄
潮市之時節ハ思召ニも難任、其砌先例沙汰等
八不申立様一同相心得可申もの也

未九月

前書之通被 仰渡、村々一同相助り広
太之 御仁恵と難有仕合ニ奉存候、
依之連印御請書奉差上候、以上

御知行所

武州埼玉郡八条領

七ヶ村

安政六未年九月二日 三判ツ、

御地頭所様

御役所

右は去未年御年貢仮免状之儀は、

先年より御渡シ無之前書之通御請書差上

候間、丸写シ奉差上候処相違無御坐候、以上

森川肥後守知行所

武州埼玉郡大曾根村

申正月

名主 佐五右衛門 印

組頭 健之助 印

百姓代沢 治郎 印